

活動名 光と森のカーニバル	団体名	NPO 法人 LOVE ECO 周南
	地域	山口県周南市
	代表者	理事長 福田 陽一
	支援金額	30 万円
活動概要		
<p>夏の部として 7/11（土）13 時～17 時まで自然体験プログラムを開催。ただし、この日は天候不良のため夜の映画鑑賞は中止とした。幼児から小学生とその保護者を対象に 38 人の参加者が集まった。自然体験プログラムはアーチェリー、ツリークライミング、ラフティングボート、ジップライン、トランポリン、スラックラインなど。参加者は希望する各プログラムを楽しみながら自然と触れ合っていた。</p> <p>秋の部として 10/31（土）13 時～19 時まで自然体験プログラムを開催。ハロウィーンをテーマに自然体験プログラムを用意した。幼児から小学生とその保護者を対象に 45 人の参加者が集まった。プログラム内容はアーチェリー、ツリークライミング、ジップライン、トランポリン、スラックライン、ジャックオランタン作り、木の実で作る工作、映画鑑賞などを楽しんだ。</p> <p>◆実施時期 7/11、10/31 周南市須万</p> <p>◆参加人数 7/11 子ども 27 名、保護者 11 名、スタッフ 8 名 10/31 子ども 29 名、保護者 16 名、スタッフ 11 名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:102 名</p>		



<アーチェリー> 狙いを定めて初めてのアーチェリー体験



<ジップライン> 木から木へワイヤーを渡り滑空 気分はターザン



<ジャックオランタン> 家族で作りました



<ツリークライミング> みんなで木登り眺めは最高

◆実施に伴う効果

今回の助成事業により新たな自然体験プログラムとして、ボッチボールと森の映画鑑賞を取り入れることができた。またジップラインはこれまでより規模を拡大することができた。開催した中山間地域には児童数が8人であったが、都市部から来た参加者との交流を喜び楽しんでいた。参加した人はよりこの地域に好感を持ちまた来たいと喜んでいました。

自然の中で一生懸命に遊ぶ子どもたちがいて、保護者は家に帰ると「よくがんばったね」とほめてあげるようお願いしたことで、親子のコミュニケーションが向上した。

◆苦勞した点

- ・ボランティアスタッフを集めることには苦勞した。
- ・外部講師もわずかな謝金で依頼したので申し訳ないと感じた、もうすこし予算を大目に確保すべきだった。
- ・外部へのPRはチラシを配布することに労力がかかった。
- ・リスクマネジメント、安全への配慮は細心の注意を払った。
- ・屋外での自然体験なので天候に左右されるため、天気予報は何度も確認した。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・プログラムを安全に遂行するためにはスタッフの習熟度をもっと高める必要がある。
- ・子どもたちの心にしっかりと残る、スタッフの声掛けや表情、態度は改善していく。
- ・今後こうした事業を自己資金で開催できるよう組織の強化、スタッフの拡大、備品の充実、資金の確保が必要である。ぜひ来年度も継続して行いたいと考える。

◆活動を終えての感想・意見等

参加した子どもたちの笑顔が良かったです。これからの将来を担う彼らにとって、汗を流して運営している大人の姿、開催した地域の方々が大切に守ってくれている地域があるから、貴財団が助成してくれているから、みなさんの力があってこそ活動ができたことは子どもたちにも伝わったと思います。そして彼らが大きくなったときにまた次世代のために活動してくれることを願っています。